

乾汽船 環境報告書 : 2013年

地球温暖化防止など地球環境に対し世界的関心がますます高まる中、国際海上輸送業を営む当社にとって地球環境保全は船舶の安全運航と並んで経営理念・基本経営方針の一角を占める最重要課題の一つであり、且つ社会に対する重要な責務であると認識しています。この認識から、当社は環境マネジメントシステムについての国際規格である「ISO 14001」の認証を2006年に取得し、これを適切に運用して海洋・地球環境保全に積極的に取り組んでいます。

2013年度に当社船舶に適用された新たな環境規制は次の通りです。

1. MARPOL 付属書 VI 米国カリブ海域内の SO_x 排出規制 (追加)
2. 米国 NPDES*₁ 環境規制 VGP*₂ の刷新 (地域規制)

(*₁: National Pollutant Discharge Elimination System *₂: Vessel General Permit)

従来からの規制に加え、これらの規制に対して当社船舶は適切に対応致しています。

特に地球温暖化防止の観点から、船舶からの CO₂ 排出量削減の為の有効なツールの役割を担う「船舶エネルギー効率管理計画書」で CO₂ 排出量の指標である EEOI(エネルギー効率運航指標)のモニタリングを織り込み、当社が実行する地球温暖化防止活動の結果を数値化して活動のモニタリングと改善を継続して実行する事として活動をしています。

現在外航海事クラスター内では、生物多様性保全を目的とした「バラスト水規制および船舶搭載義務があるバラスト水処理装置」が今後の環境規制の大きなトピックとされています。当該規制には国連機関の一つである国際海事機関 (IMO) による国際的規制 (未発効) と米国による米国内規制 (発効済) が両立する事に成っています。当社は、IMO 規制内容に比べ生物多様性保全に関して、より厳格で効果的な米国内規制に沿ったバラスト水処理装置を当社現存船舶に対し適時搭載する準備を進めています。一方、2013年11月竣工の新造船一隻に対して同処理装置を搭載して適切に運用し、以後竣工予定の全ての新造船に対してどう処理装置を搭載する事と致しました。

2013年度 (2013年4月~2014年3月)期間中、当社は環境マネジメントシステムにより環境保護に資する規制を適確に順守しつつ積極的に環境保全活動を実行しました。この結果、実施計画と実績 REVIEW (別紙) の通り概ね全ての計画について目標達成致しました。この達成状況を踏まえ、取り組みを深化させるべく2014年度の目標を設定いたしました。当社全社員は、目標達成を通じて海洋・地球環境の保全に取り組めます。